



9月号 令和7年9月1日発行

一中だより



編集・発行 / 武蔵村山市立第一中学校 〒208-0004 武蔵村山市本町2-76-1 TEL 042-560-1761

充実の秋

校長 森元 隆之

猛暑日(最高気温35℃以上)の連続で、熱中症警戒アラートも鳴り止まなかった今夏、日没後の涼しげな風を感じるようになるのは、果たしていつ頃でしょうか…。「暑さ寒さも彼岸まで」とは言いますが、『過ごしやすいなあ』と感じ始めたら、それが秋の訪れかもしれません。

柿の実のだいたい色を見上げおり時間にすれば数秒のこと 小澤 實

柿の成熟にはまだ少し早い時期ですが、この短歌では、異彩を放つ「だいたい色の柿の実」の存在感。その誇示するような姿が、作者の目にとまった。見つめる時間はほんの数秒だったであろうが、まるで心を奪われ、長い時間見ていたかのようなその美しく鮮明な記憶が、作者には印象強く残った…。

さて、私は、この短歌の「柿の実のだいたい色」が、第一中学校の生徒の輝きであってほしいと願っています。自身の目標に向かって、精一杯取り組むことは、自分らしい(だいたい色)力を発揮することに他なりません。協働・協調を大事にしながらも、自身の存在を疎かにはしない。きっと、そのような行動やこだわりは、その人のぶれない軸の強さとして、周囲の者には一瞬(数秒)で伝わります。感心し、尊敬し、羨望の的になるに違いありません。

二学期は、教育活動の充実期です。今年度の学校経営方針でもある、「基礎的・基本的な学力の定着」を図り「授業の充実と改善」を指導の軸とすることで、以下のような生徒の充実につながります。

体験活動の充実…3年生修学旅行・1、2年生校外学習・I組宿泊学習・マラソン大会

生徒会活動の充実…役員選挙・後期生徒総会・各種委員会〔1、2年生の活躍〕

地域連携の充実…道徳授業地区公開講座・小中一貫教育・スポレク大会

チキチキフェスティバル・スマイルコンサート

以上の「充実」は今学期に行われる教育活動の一部ですが、決して単発なものではありません。生徒の作文や感想文に「この経験を生かして次の〇〇も頑張っていきたい。」という表現を多く目にしますが、まさにこの二学期の活動は、他の取組に生かせるものばかりです。

みなさんの輝き(柿の実のだいたい色)を見上げるのを、楽しみにしています。

